

## 初めて知った「三つの差別」、そして、「イギリスの格差社会」

奈良里紗先生

拝啓、初冬の候、奈良先生の素敵な講義をありがとうございました。  
視覚障害の方々、どのような人で、どんな生活をしているのか、一般の人がそれを知る機会があんまりないです。そのせいで、色々な先入観を持つことがあります。機械が苦手や読み書きができないなど、でも講義を通じて、そうではないことを知りました。

先生がおっしゃった「三つの差別」もとても勉強になりました。一般の人だけではなく、視覚障害者が自分に偏見を持つこともある。「視覚障害のある自分にはできない」、「視覚障害者らしくふるまわなくてはならない」視覚障害者が色々な私たちが思いつかない悩みを抱えて生きていることを初めて知りました。そのため、障害者本人やご家族の支援が必要です。支援をしている奈良先生をととても尊敬します。

先生が紹介したイギリスもとても面白くて、イギリスに対する印象が変わりました。昔からよく、イギリスの社会保障がいいと聞いていたので、イギリスは平等で住みやすい国だと思っていましたが、まさかの格差社会と知りました。上流階級と一般人の言葉使いも違うことを初めて聞き、びっくりしました。やはり、先入観を持つことはよくないと、改めて感じました。

最後に、先生が「かわいそうな障害者じゃなく、カッコイイ障害者のキャラクターが出てほしい」と言った。私もそう思います。中国の武俠小説にはよく、視覚障害のある武術の達人が出てくる。そういうキャラクターを見たら、いつもカッコイイと思います。その原因で、私はずっと、努力して困難を乗り越える視覚障害者を尊敬しています。き

末筆ながら、奈良先生の益々のご活躍をお祈り申し上げ、お礼といたします。

国際医療福祉大学

カク フウ